

KIS 国際物流ニュース！ (2019年5月号)

国際物流業務に役立つ 最新情報をお届け！

国際事情、行政、システム、導入事例、多彩な情報からピックアップ



手ぶら観光を目指して JAPAN Official Travel APP

昨年(2018年)の豪華客船の寄港回数は過去最高になりました。客船クルーズは長期間の旅行となり、持ち込む荷物も相当な量になります。しかし、その荷物は船室に置いておくことができ、上陸の際は少しの荷物で観光することができます。昨年(2018年)の訪日クルーズ旅客数は244万6千人。訪日外国人旅行者数3119万人の8%弱にすぎません。現状、訪日旅行は個人によるものが多数で、その多くは大きな荷物を持って日本国内を移動しています。日本政府観光局は旅行者の利便性向上を目指し「手ぶら観光」環境を定着させるための検討を物流及び旅行関係の団体・機関とともに進めています。

ハンズフリーカウンターの設置、そこで荷物を預け、次の目的地に時間通りに届けるサービスが基本的なサービス内容です。お土産等を海外のご自宅へ届けるサービスや一時的に保管するサービス、多様なキャッシュレスの対応等想定されます。さらにスマホアプリでの手荷物の情報も提供予定で、利用者の利便性は格段に向上するはずで

実際、その物流は、安心 (Top-class Security) と安全 (Safety of Japan's delivery) を提供可能な日本の物流事業者が支えているということもありません。

G20大阪サミット 全国の交通規制の話

来る6月28日、29日、G20大阪サミットが開催されます。首脳会合は大阪市で開催。大阪府警は前日の27日から30日までの四日間の交通規制を発表しています。高速道路の規制はもちろん、到着及び出国が予定されている関西国際空港は、その連絡橋が規制されます。要人等が大阪市内へ向かう時や戻るときは片側通行止めとなります。

大阪は首脳会合がありますが、実はG20サミットは関係閣僚会合を全国8都市（5月に新潟市、福岡市、つくば市、軽井沢市、秋には松山市、岡山市、北海道倶知安町、名古屋市）で開催しますので、2019年は各地で交通規制が実施されると思われます。

秋にはG20の果実を収穫し、国際物流事業にとっての実りを期待したいと思います。

海貨・通関業者向け 情報管理とOCR連携セミナー

4月から働き方改革の取り組みが本格化しています。情報の一元管理で二重入力による作業やミスの削減、OCRやRPAを活用し登録作業の効率向上、さらに従業員がより付加価値の高い業務に従事できるようデータエントリーの安全な業務委託もご紹介します。

主催：日本電気株式会社 (NEC)

関西総合システム株式会社

大阪：2019年5月29日(水)

東京：2019年6月12日(水)

対象：海貨・通関業者の営業部門、業務部門

情報システム部門の方

申込：<https://www.kisnet.co.jp/event/>



関西総合システム株式会社
<http://www.kisnet.co.jp>